

単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善(例)

【学 年】 小学校第6学年

【題材名】 学級活動(2) イ 「SNSの正しい使い方」 (2時間扱い)

【育成する資質・能力】

〔知識及び技能〕	〔思考力, 判断力, 表現力等〕
日常の生活といった自己の生活上の課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解するとともに、そのために必要な知識や行動の仕方を身に付けるようにする。	自己の生活上の課題に気づき、多様な意見を基に、自ら解決方法を意思決定することができるようにする。

【主な学習活動と留意点】

前題材からのつながり：児童の日記や作文を活用したり、ニュース等の映像を有効活用したりして、本題材を設定する。

働かせる見方・考え方：自己の問題を捉え、自己の実現に向けた実践に結び付けること

段階	学習活動(時間)	留意点
つかむ	問題の発見・確認(1) アンケート結果から課題把握 ・ SNSは便利だと思いますか ・ SNSでトラブルになった?	<p>自己の生活を振り返り、解決すべき課題を意識化する場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞ 事前にアンケートをとり、グラフにまとめる。 ☞ グラフ提示の仕方を工夫し、実態を把握できるようにする。
	<p>題材：「SNSを使うときに大切なことを考え、自分が気をつけることを決めよう！」</p>	
さぐる	原因の追求(0.3) ・ トラブルの原因は? ◆メッセージを送る側 ◆メッセージを受け取る側	<p>原因を分類・整理し、よりよい解決方法を探る場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞ 話し合いのグループを生活経験等から意図的に編成する。 ☞ 付箋を活用してトラブルの原因を分類・整理しながら、小グループでトラブルの解決方法を話し合う。 ☞ 児童が主体的に問題解決の方法や対処の仕方を考えられるよう、必要な情報を提供する。 ☞ SNSを利用しない児童については、日頃の言葉遣いや手紙などを送る際に、よりよい人間関係を築くことができる具体的な実践方法を意思決定できるように促す。
	見つける	解決方法の話合い(0.5) ・ どうしたら解決できる?
きめる	自己の意思決定(0.2) ・ 自分が気をつけることは?	
実践する	決めたことの実践(事後)	<p>実践 → 振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞ 個人目標が意識できる「自己評価カード」を用いて、実践意欲の継続化を図る。 ☞ 学年便り等を用いて、児童の努力の様子や家庭での協力に対する感謝を伝える。
	振り返り(帰りの会等)	

次題材へのつながり：道徳科 B相互理解、寛容 C規則の尊重 へつなげる。

学級活動2(イ)よりよい人間関係の形成 へつなげる。